旧町民プールの福祉施設構想は

町長 建設資材高騰で断念

◆松永（まつなが） 民夫（たみお） 議員

養老町公共施設統合検討委員会で、旧町民プールへ保健センターと老人福祉センターを統合した総合福祉施設の計画が提案された。

問 **旧町民プールを利用した総合福祉センター構想が提案され、昨年実施設計の予算が計上されたが、未執行となった。町の考えは。**

答 福祉施設の統合は、行財政改革推進審議会から、町民プールの有効利用の答申を受けた。令和4年3月に公共施設統合検討会で、概算4億6千万円と提示されたが、基本設計では、改修工事費について約9億6千万円となり、各種交付金や補助金など無く、実施設計を未執行とした。町民プールを活用した総合福祉施設構想は困難であると判断した。

問 **旧町民プールを総合福祉施設としない判断が下された。総合福祉施設は庁舎に隣接した場所が最適と考えるが、考え方は。**

答 庁舎近くへの移転は理想であると考えるが、用地の確保など課題もある。他の選択肢を比較・検討する時間をいただきたい。

旧町民プール

不登校とひきこもり対策は

教育長 支援対策等調査研究していく

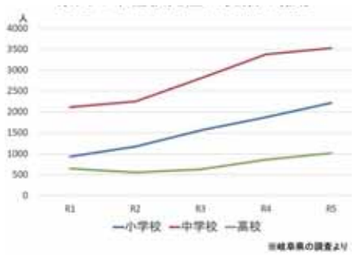
全国の小中学校での不登校の児童生徒は11年連続で増加し、最多を更新した。ひきこもりの約40％の人は不登校が原因とされている。

問 **令和5年度の全国の小中学校の不登校の児童生徒は34万6482人で最多を更新し、岐阜県でも小学校は2214人、中学校が3527人で8年連続最多を更新した。養老町の現状と対策は。**

答 教育委員会は毎月各学校から調査報告を受けている。昨年度の1000人当たりの不登校数は県とほぼ同数である。対策としては担任及び学年主任、教育相談担当が本人や保護者から相談を受けたり、電話連絡や家庭訪問による支援を行っている。中学校区ごとに県の相談員も配置され、情報共有を図っていく。

問 **不登校の約40％がひきこもりになるといわれている。学校卒業後の追跡調査及び対策は。**

答 県において「ひきこもり支援に関するニーズ調査」が実施された。ひきこもりの要因は様々多岐である。当町では家族等から相談があった場合、対応している。



県内の不登校児童生徒数の推移

テレワーク施設の運営状況は

町長 地域づくりの中核的な存在へ

◆岩永（いわなが） 義仁（よしひと） 議員

令和4年に開設されたテレワーク施設「ヨロフィス」はオープンからこれまで利用実績が低迷し厳しい運営が続いている。

問 **一日の利用者が数人程度という状況が続いているが見解は。**

答 多目的に活用できる公共空間としての展開を進めている。SNSの活用や宿泊事業者等との連携で施設の活用と地域への滞在促進を一体的に進めていく。

問 **施設利用者数の増加が見られないが、状況改善に向けた指導等は行ってきたか。**

答 これまで指定管理業者と協議はしてきたが指導は行っていない。

問 **KPI※目標2万5500人に対する利用実績が約1000人であり達成率が約4％という状況である。一般企業なら破綻するか即時撤退を決める状況。養老町はこの数年間で実質日本で一番人口が減少した町というデータがあり、こんな施設を運営している余裕はない。施設閉鎖の可否判断は。**

答 5年間の契約更新をしたばかりであり継続を基本としている。今後の利用状況や運営コストのバランスを見ながら議論していく。

※KPIとは、目標達成のための進捗状況を測るための指標

テレワーク施設YOROffice

新設される橋爪大橋は

町長 県土木事務所に問い合わせた

牧田川に新しい橋が完成予定。現多芸橋の南北県道は狭く通行困難な場所も多い。橋爪大橋開通による交通改善が期待される。

問 **開通予定日及び開通イベントの実施は。**

答 今年度中の開通を目指しているが現時点では未定。イベントは近隣市町と構成する関係団体や県土木事務所と連携しながら検討していく予定。

問 **信号機の設置及び制限速度は。**

答 南北の接続道路に信号機が設置できる構造となっている。橋上の設計速度は50㎞。

問 **歩道の整備や、来年度から法改正が予定されている自転車の専用路設置は。**

答 歩道は道路西側に整備されるが自転車専用路はない。

問 **多芸橋南北道路は狭く車のすれ違いが困難な箇所が多い。県の資料にも近隣道路の「幅員狭小によるすれ違い困難箇所の解消」が明記されている。地域住民の安全確保のため、生活道路として一般車両の進入を抑制する考えは。**

答 通行車両が橋爪大橋を利用するルートへ誘導できるよう、案内標識の変更を県へ要望していく。

橋爪大橋

ほかに「給食費無償化の実施に向けて」と「こどもの権利条例制定を提案」についての質問もしました。